



20筑建第 376 号

平成20年10月 8日

国土交通省道路局長

筑前町長 手 柴 豊 次
(建設課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました、標記の件につきましては別紙のとおり、報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県筑前町

- (1) 高速道路等において、多額な事業費を投資しても通行料金が高いため車両が通行しなければ投資効果は薄れ、交通渋滞も解消されない。しかし、料金を下げることにより通行車両が増加すれば投資効果も高まり、収支の採算性も取れると判断する。この観点より現在ある高規格道路の通行料金等の見直しを含め有効活用を検討すべきである。
- (2) 道路特定財源について平成21年度から一般財源化されるが、暫定税率はその主旨からいって再度見直しをすべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

福岡県筑前町

○現状

道路・交通網は、産業活動や日常生活を支えるとともに、人々の交流を促進する重要な基盤である。

本町の道路網は、平成18年4月現在、大分県へ通じる国道386号をはじめ、国道200号・500号の国道3路線と、県道9路線、町道1,296路線によって構成されている。また、町の南には九州横断自動車道が走り、筑後小郡ICや甘木ICが設置されている。

本町ではこれまで、関係機関と連携しながら道路網の整備を計画的に進め、九州各地へのアクセスが容易な利便性の高い道路網が形成されているが、まだまだ不十分な状況にある。

○課題

交通量の増加や高齢化が進む中、国道の交差点改良や歩道整備をはじめ、より一層安全な道路網の整備が求められているとともに、福岡都市圏や久留米広域圏、朝倉市、九州横断自動車道などへのアクセスの一層の向上や町内地域間の連携強化など、将来の発展を見据えた総合的な道路体系の確立が課題となっている。

また、環境保全の重要性が叫ばれる中、環境・景観に配慮した道路づくりも必要である。このため、今後は、幹線道路から身近な生活道路に至るまで、より一層安全で便利な道路網の整備に積極的に取り組むとともに、人と環境にやさしい道路空間づくりを進めていく必要がある。

(1) 国道の整備促進

東西幹線軸を形成する国道の交差点改良や歩道整備などの安全対策を、関係機関に積極的に要請し整備を図る。

(2) 県道の整備促進

東西幹線軸を形成する主要地方道筑紫野三輪線(山麓線)及び主要地方道久留米筑紫野線(産業道路)、東西補完軸を形成する県道久光西小田線、南北補完軸を形成する県道山家西小田線、県道三箇山山隈線、県道女男石野町線をはじめ、県道の整備を関係機関に積極的に要請し整備を図る。

(3) 町道の整備と維持管理の充実

東西補完軸・南北補完軸を形成する主要な町道から身近な生活道路に至るまで、町道の整備を計画的、効率的に推進するとともに、町民との協働やシルバー人材センターの活用等を通じ、道路の維持管理の充実を図る。

(4) 人と環境にやさしい道路空間づくりの推進

道路の整備・管理にあたっては、災害時への対応やバリアフリー(あらゆる障壁を取り除くこと)化、環境・景観の保全と創造などに配慮した、人と環境にやさしい道路空間づくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福岡県筑前町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	町道南北線道路改良事業 (地方道路整備臨時交付金事業) L=1,900m W=11.00m 主要地方道筑紫野・三輪線道路改良事業 L=8,950m W=11.00m	本庁舎を中心とした道路網の整備であり、生活の利便性が向上するとともに、合併後の協調、融和に資する。 主要地方道筑紫野・太宰府線(平成20年3月開通)と接続している道路であり、沿線には癒しの里夜須高原やファーマーズマーケット(平成21年4月オープン)がある為、地域の活性化や町行政の振興・発展に多大なる効果が期待できる。	合併前の旧三輪町南部と旧夜須町役場(本庁舎)を結ぶ道路
交通安全の向上	国道386号・500号歩道設置事業 歩道幅員 W=3.50m	年々交通量が増加しているが、歩道の整備をすることにより、子供や高齢者が安心して通行できる。	別紙写真参照

①

国道 500 号線 (原地蔵)



②

国道 386 号線 (中牟田)

